

(議長)

次に、町長からの行政報告の申し出がありますので、これを許可いたします。
町長。

「町長」 (行政報告)

寄付採納について、ご報告申し上げます。

初めに、令和2年12月24日、株式会社Zozo創業者で、東京都に事務所を置く、株式会社スタートトゥデイ代表取締役社長前澤友作様より、現金500万円のふるさと納税がございました。

前澤氏が、令和2年納付のふるさと納税約8億円の寄付先について、全国の自治体へアイデアを募っており、当町では、町のシンボルかもめ島周辺を町民の交流や観光の拠点にする北の江の島構想の実現に向け、応募したところでございます。

最終的には、全国150自治体からアイデアの応募があり、応募した自治体へ、500万円ずつ、ご寄付されたと伺っております。

今回のご厚志につきましては、一旦、江差町ふるさと応援寄付金として、受け入れ、今定例会で上程しております、江差町かもめ島交流拠点づくり基金の設置、管理、及び処分に関する条例を制定し、江差町かもめ島交流拠点づくり基金を新設させていただきながら、北の江の島構想の実現に向けて、活用させていただきたいと考えております。

次に、令和2年12月18日、函館市に事務所を置く、第1生命労働組合函館営業職支部執行委員長佐々木道也様より、町立かもめ保育園、水堀保育園、及び、町立なかよし児童会、つばさ児童会に対し、児童福祉推進のために、紙芝居3冊組み4セットのご寄贈がありました。

同組合の地域貢献活動は、平成22年度から継続されており、この間、町立保育園や幼稚園、学童保育所にご寄贈をいただいております。

ご寄贈いただきました紙芝居につきましては、保育園や学童保育所にて、活用させていただきます。

次に、令和2年12月18日、江差町字新地町27番地、プリントプラザメモリー新山信二様より、保育園児のクリスマスプレゼントとして、町立かもめ保育園、日明保育園、水堀保育園に、クリスマスながくつお菓子のご寄贈がありました。

次に、令和2年12月24日、江差町字本町38番地、株式会社五勝手屋本舗代表取締役小笠原敏文様より、図書館の図書充実のためにと現金10万円のご寄付がありました。

昭和62年に小笠原文庫を創設以来、毎年ご寄付頂き、これで、寄付総額680万円となり、購入させていただいた図書数も、令和元年度までで、1,977冊を数えました。文庫は、北海道関係資料を中心とした貴重な蔵書構成となっており、町民の利用に広く供し、地域全体に重要な存在となっているところでございます。そのため、本定例会に補正予算として提案いたしております。

また、江差町字茂尻町345番地、ASA江差朝日新聞専売所所長松崎浩様より、図書館の図書充実のためにと、図書10冊のご寄贈がありました。平成2年から継続してご寄贈いただいた図書は、今年度で1,653冊となり、町民の供用と文化の向上に寄与しているところでございます。

次に、令和3年1月22日、東京都荒川区東日暮里2丁目35番地6号、角田トシエ様及び仙台市太白区鉤取3丁目26番地16号、中屋紀子様より、お二人の共有名義となっている田沢町711番地2、面積が641㎡及び711番地3、面積が341㎡の原野、並びに田沢町711番地1、面積が89,927㎡の山林のご寄付がありました。

原野につきましては、田沢1号線の道路敷地でございます。長年にわたり、有償にて、その一部を借上げさせていただいていた土地であり、山林につきましては、町道敷地と隣接し周囲が町有隣に囲まれている土地で、併せてご寄付いただいたものでございます。

次に、令和3年2月15日、株式会社北海道新聞社事業局出版センターセンター長加藤敦様より、町立かもめ保育園、日明保育園、水堀保育園に絵本3冊3セットのご寄贈がありました。

ご寄贈いただきました絵本につきましては、日々の保育活動で活用させていただいております。

最後に、令和3年2月25日、札幌市に事務所を置く、生活協同組合コープさっぽろ理事長大見英明様より、新入学児童の交通安全への願いを込めて、交通安全ランドセルカバー50枚のご寄贈がありました。

同組合の地域貢献活動は、平成24年度から継続しており、交通安全の推進に一翼を担っているところであり、ご寄贈いただいたランドセルカバーは、入学式当日に配布を予定しております。

以上のご寄付がありました事をご報告申し上げますと共に、改めてご厚志に厚くお礼を申し上げ、行政報告を終わらせていただきます。

(議長)

以上で、行政報告を終わります。